

# 視 座

## 石巻圏域における「第6波」の現状と地域医療への影響

宮城県医師会理事

荒井 啓 史

### 「第6波」の状況

#### 1. 石巻圏域での陽性者の推移

全国的には令和4年1月初めより新型コロナウイルス陽性者数が再び急増し、いわゆる「第6波」の到来となる。2月3日には全国での陽性者が初めて10万人を突破、宮城県においても1月6日に初のオミクロン株陽性者が確認され、同月中旬から新規陽性者が増加に転じる。2月に入ると陽性者数は加速度的に増加し、2月24日には1日あたり7,300人と過去最多を記録することになる。石巻市、東松島市、女川町を含む石巻圏域における日毎の新規陽性者数を図1に示す。1月第2週は1人であった新規陽性者数が第3週には23人と第5波以降再増加に転じる。当初の感染経路は仙台市など圏外の感染流行地との接触が主体であったが、次第に感染経路不明の症例が増加する。1月にはスポーツ団体、保育施設、小学校でクラスターが相次ぎ、同月第4週には新規陽性者は111人、第5週には238人（第5波時の週単位での最大数は131人）と急増、

1月最終週～2月第1週では326人、2月には障害者福祉施設や医療機関において、3月には複数の高齢者施設、障害者施設でクラスターが発生、当初若年者の新規陽性者の占める割合が高かったが次第に中高年者の陽性者も増加することになる。2月最終週～3月第1週には380人と現時点でのピークを迎えた。その後は緩やかな減少傾向となるが、3月下旬現在でも1日の新規感染者数は20～30人と「高止まり」の状態である。

#### 2. 新型コロナワクチン接種状況

16歳以上の3回目となる個別接種は、医療従事者を対象に1月7日から、一般住民に対しては1月26日から始まり、集団接種は2月5日から開始となった。集団接種は3会場で、個別接種には36の医療施

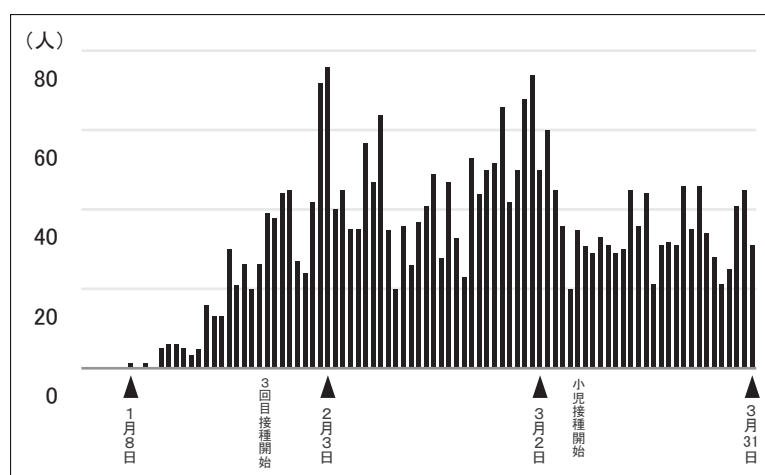


図1 石巻圏域における「第6波」新規陽性者数の推移  
(令和4年1月～3月)

設が協力している。3月28日時点での3回目の接種率は43%以上（国：40.4%，県：39.9%），65歳以上の高齢者に限っては84.3%（国：80.0%，県：82.7%）と順調と思われるが，3月末から4月にかけて集団接種，個別接種ともに予約者数が伸び悩み，予約枠にかなりの空きが見られている。5～11歳の小児への接種は3月7日から個別接種が12の診療所で始まり，集団接種は3月27日から石巻赤十字病院を会場に開始された。開始間もないため接種率は3月末時点で未だ10%未満である。



### 地方医療への影響

第6波の主役であるオミクロン株の特性上，重症者数が第5波当時と比較し少ないとは言え，感染者数は遥かに多い状況にある。宿泊療養施設での健康観察業務や陽性者あるいは濃厚接触者となったかかりつけ患者への対応など，我々開業医の労力は第5波当時よりも明らかに増している。また，当医療圏域を支える中核病院では，多くの職員やその家族に陽性者，濃厚接触者が出たことによるマン・パワー不足に陥り，手術数や急患対応に影響が出る場面も見られた。近隣に複数の大型医療機関を抱える都市部と異なり，地方では数少ない医療機関に救急医療・高次医療の大部分を依存せざるを得ない。平時では医療の経済的効率も重要ではあるが，パンデミック下では医療資源の偏在こそが我々地方の開業医や地域住民にとって大きな問題である。同様の状況は今後も繰り返される可能性が非常に高く，この機会に熟考されるべき問題と考える。

### 医院経営への影響

石巻市医師会が行った会員を対象とした経営に関するアンケート結果から一部抜粋し，図2に提示する。第6波下の令和3年12月から令和4年2月末までの患者数と医療報酬の増減を1年前の同時期と比較したものである。患者数が減少したとの回答は73%（第5波時では前年比減少が67%）であり，減少率は10～30%が最多で，2医療機関からは50%以上の減少との回答があった。診療報酬点数を見ると73%（第5波時は減少が65%）で減収と回答しており，減少率は10～30%が80%，50%以上の減収との回答も1施設で見られた。コロナ禍での補助金，診療・検査協力機関としての業務やワクチン接種での収益を得てはいるが不十分と思われ，全体的には経営が順調との印象は薄く，開業医にとっては未だ厳しい経営状態にあると言える。一方，従業員の雇用状況は90%以上の医療機関で現状維持もしくは新規雇用があり，職員の自宅待機を行った医療機関が4%，職員の解雇を行った施設はなかった。給与についても現状維持または増額したとの回答が98%であり，減額は2%のみであった。厳しい経営状況下であっても職員の雇用を守っていただいていると感じられた。最近，PCR委託検査料の引き下げなどの話題もあったが，最前線で踏ん張っていただいている先生方の努力に報いるためにも，行政等の皆様には，是非とも現場の状況を熟知していただき，さらなる対策を考慮していただきたい。

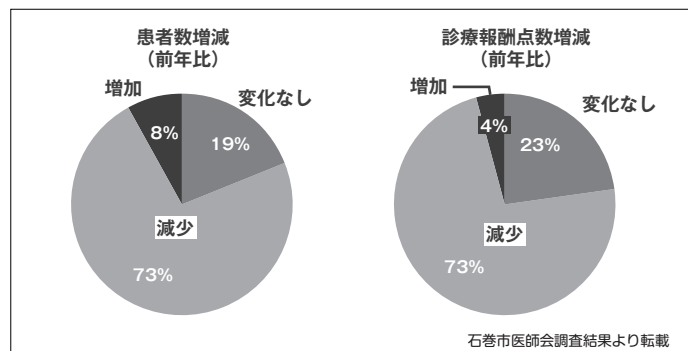


図2 新型コロナウイルス感染症による経営への影響  
(令和3年12月～令和4年2月末)